

2023年3月期第2四半期

決算説明資料

2022年11月8日



決算ハイライト

- 半導体部品の入手難による影響があり、売上高は前年同期比で減少したが、営業利益、経常利益は増益となった。

(単位：億円)	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	
	実績	実績	実績	前年同期比
売上高	351	352	350	▲1
営業利益	12	8	9	+1
経常利益	17	16	16	+0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	13	9	7	▲2

セグメント別①売上高・セグメント利益

- 交通運輸インフラ事業 : 大型案件の減少に伴い、前年同期比で減収減益。
- ICTソリューション事業 : 駅務機器等の売上増により、前年同期比で増収増益。

(単位：億円)	2021/3 2Q		2022/3 2Q		2023/3 2Q		前年同期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
交通運輸インフラ事業	183	18	197	17	191	14	▲6	▲2
ICTソリューション事業	168	8	154	7	158	12	+4	+5
全社費用	-	▲14	-	▲16	-	▲17	-	▲1
合計	351	12	352	8	350	9	▲1	+1

セグメント別②受注高・売上高・受注残高

(単位：億円)	2022/3 2Q			2023/3 2Q			前年同期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	173	185	438	390	174	612	+216	▲11	+174
スマートモビリティ	23	12	14	32	17	23	+8	+4	+9
交通運輸インフラ事業	197	197	452	422	191	635	+225	▲6	+183
AFC	134	118	182	174	127	207	+39	+9	+24
スマートシティ	39	35	13	35	31	14	▲3	▲4	+0
ICTソリューション事業	174	154	196	210	158	222	+36	+4	+25
合計	371	352	648	633	350	858	+261	▲1	+209

鉄 道 信 号

国内事業は大型案件が少なかったことから減収。受注増は国際事業による。

ス マ ー ト モ ビ リ テ ィ

国内、国際事業の交通信号システムによる売上増。受注増は国内管制システムによる。

A F C

駅務機器等による売上増。受注増は国際事業による。

ス マ ー ト シ テ ィ

セキュリティシステムなどの受注・売上が減少。

セグメント別③国際事業の状況

(単位：億円)	2022/3 2Q			2023/3 2Q			前年同期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	173	185	438	390	174	612	+216	▲11	+174
鉄道信号のうち海外	19	26	180	232	28	361	+212	+1	+181
AFC	134	118	182	174	127	207	+39	+9	+24
AFCのうち海外	0	4	24	40	5	54	+40	+0	+30
海外合計	19	31	204	273	33	416	+253	+1	+211

海外全体

海外大型案件の受注により受注高・受注残高とも第2四半期で過去最高。

海外鉄道信号

受注は主にフィリピン マニラ地下鉄、売上はインド アーメダバードメトロなどによる。

海外AFC

受注は主にエジプト カイロ4号線、売上はバングラデシュ ダッカメトロ6号線などによる。

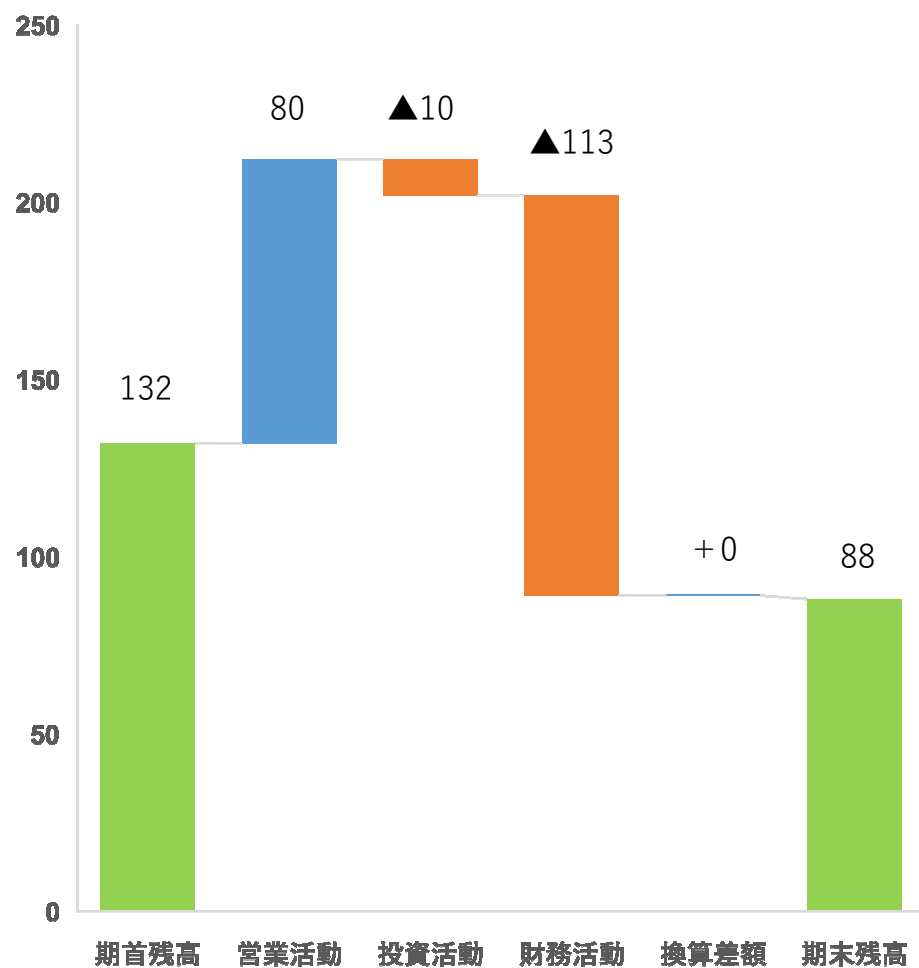
財政状況

(単位：億円)	2022/3 2Q	2022/3	2023/3 2Q	
			実績	前期末比
総資産	1,224	1,340	1,323	▲17
売上債権・棚卸合計	638	782	738	▲43
有利子負債	66	117	126	+8
自己資本	838	867	863	▲4
売上債権・棚卸比率	52.2%	58.3%	55.8%	▲2.5pt
有利子負債比率	5.4%	8.8%	9.6%	+0.8pt
自己資本比率	68.5%	64.7%	65.2%	+0.5pt

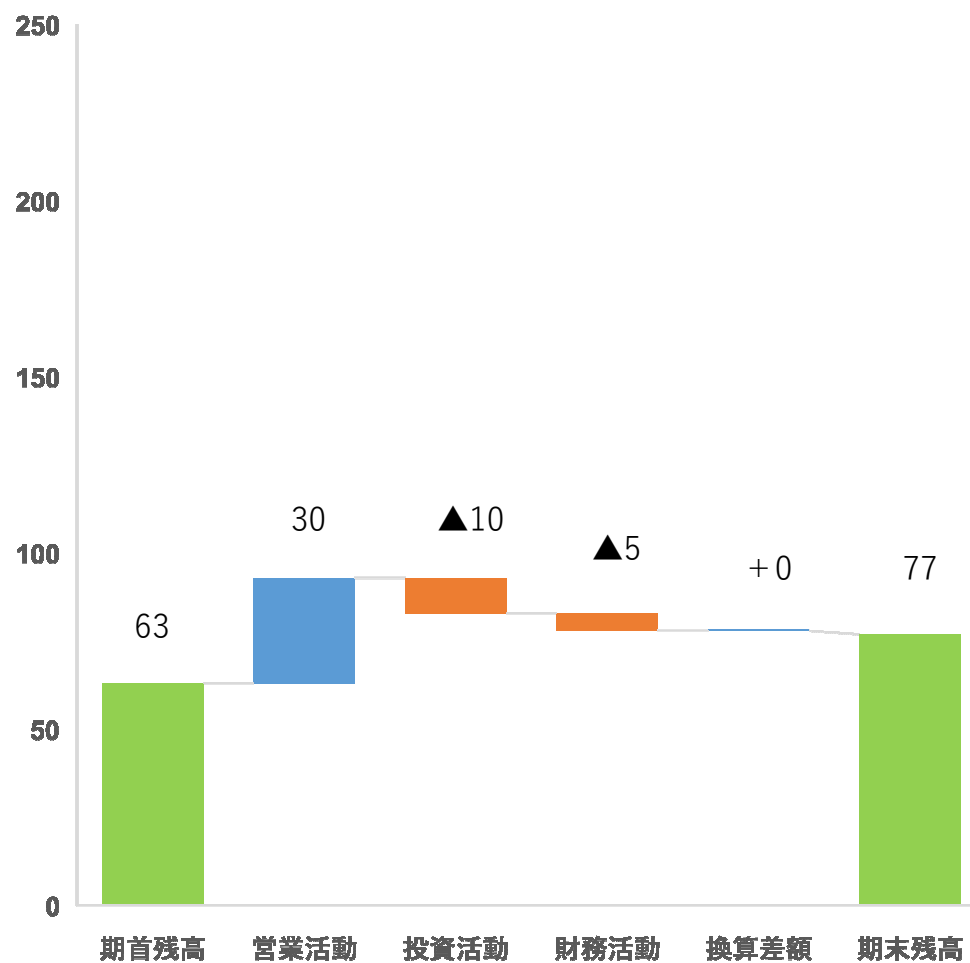
キャッシュフロー計算書

■ キャッシュフローは、借入金増加や配当によるキャッシュの減少などにより、期末残高は77億円となった。

(単位：億円)

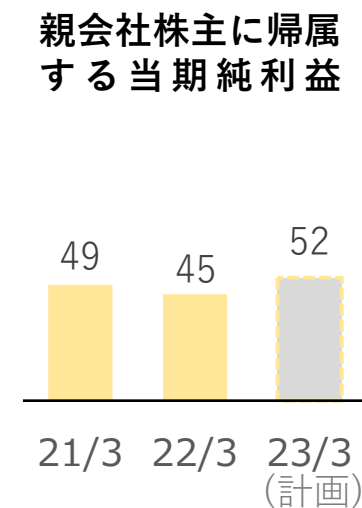
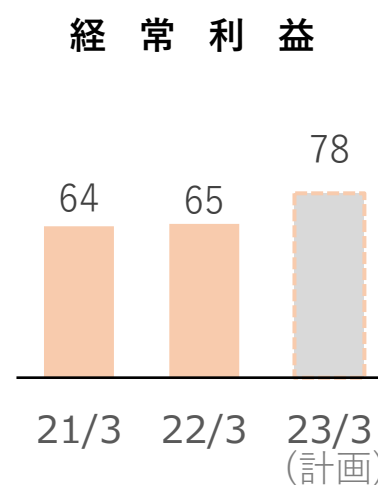
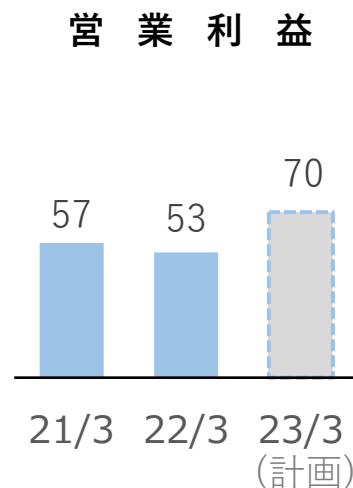
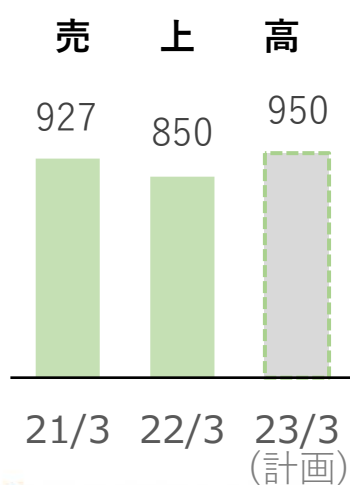


(単位：億円)



2023年3月期通期計画 計画

(単位：億円)	2021/3	2022/3	2023/3	
			計画	前期比
売上高	927	850	950	+99
営業利益	57	53	70	+16
経常利益	64	65	78	+12
親会社株主に帰属 する当期純利益	49	45	52	+6



受注高・売上高・受注残高 推移（鉄道信号）

計画

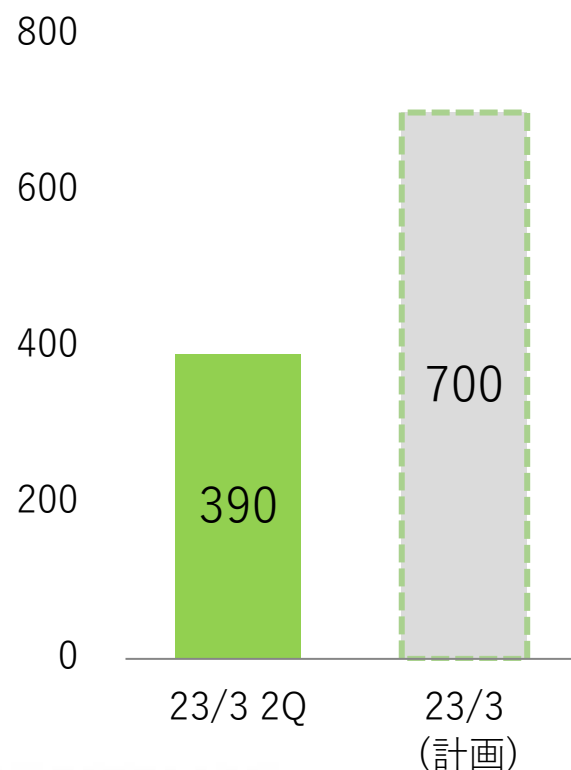
鉄道信号事業

顧客の構造改革を支えるソリューションの製品開発を進め、鉄道設備、駅務機器から駅周辺設備までをトータルで見守ることができる「T r a i o」を中心に事業活動を展開していく。

主な事業内容：自動列車制御装置（ATC）、無線式列車制御システム（SPARCS）ほか

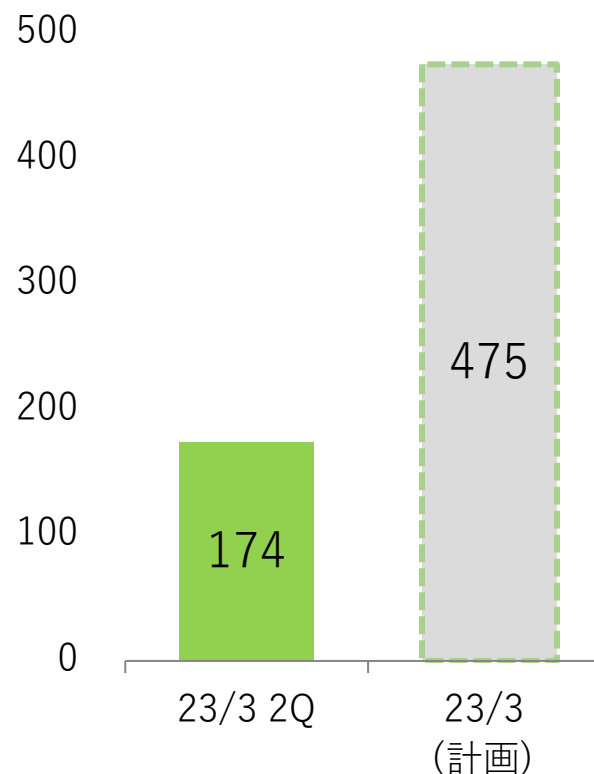
受注高

（億円）



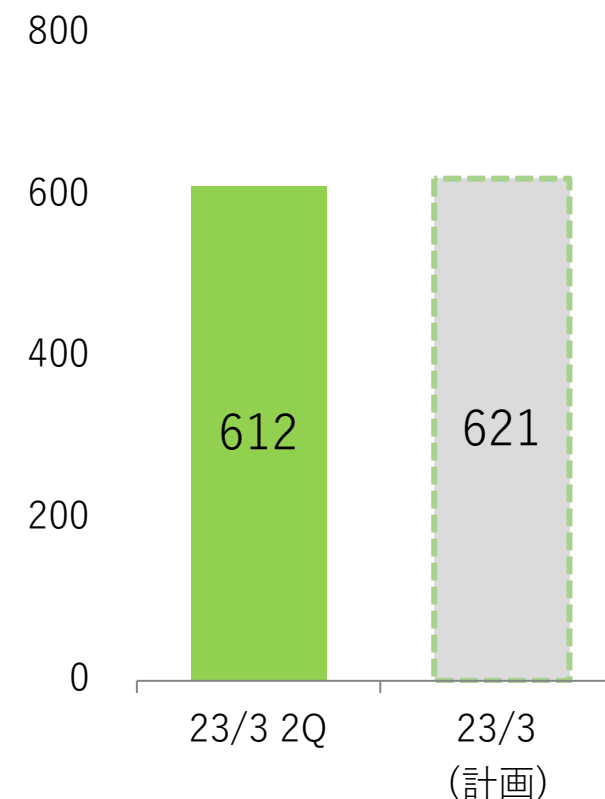
売上高

（億円）



受注残高

（億円）



受注高・売上高・受注残高 推移（スマートモビリティ）

計画

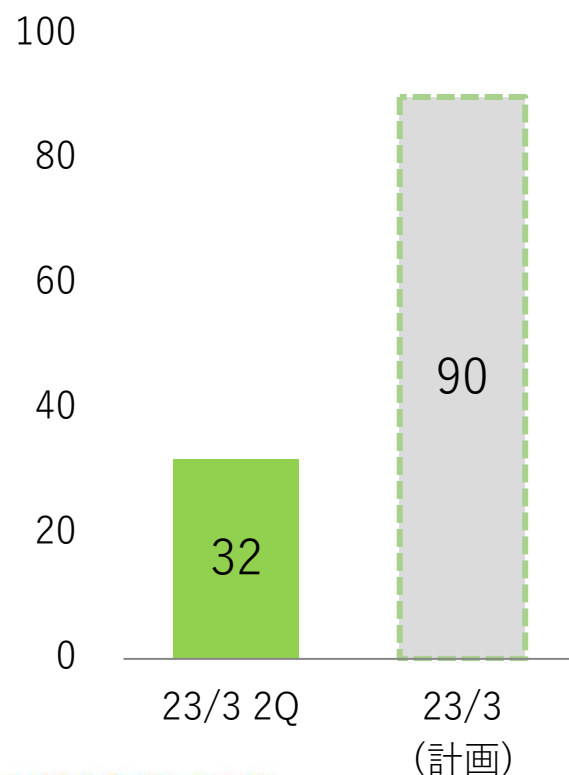
スマートモビリティ事業

「くるLink（ファースト・ラストワンマイルサービス）」や、信号機等のインフラと自動運転車両が連携した路車協調型の自動運転関連サービスの実用化に向けた製品開発、事業化に取り組む。

主な事業内容：交通管制システム、交通信号制御機・灯器 ほか

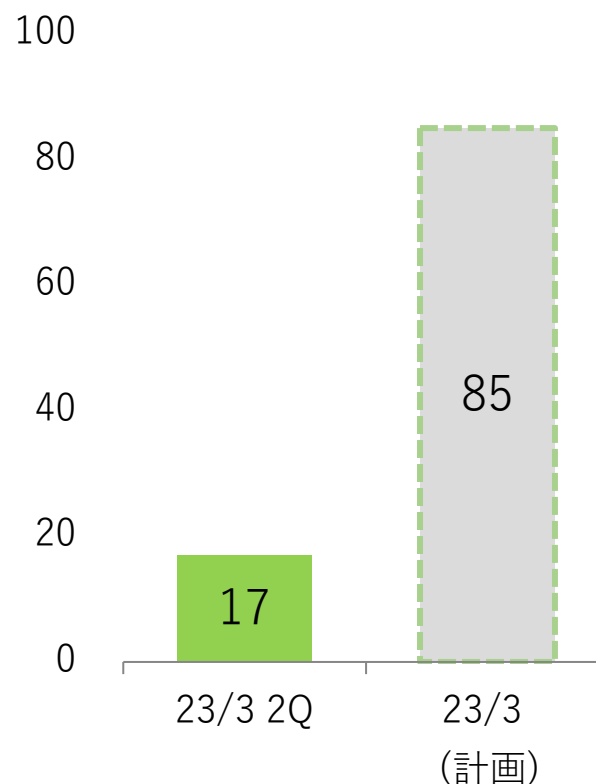
受注高

（億円）



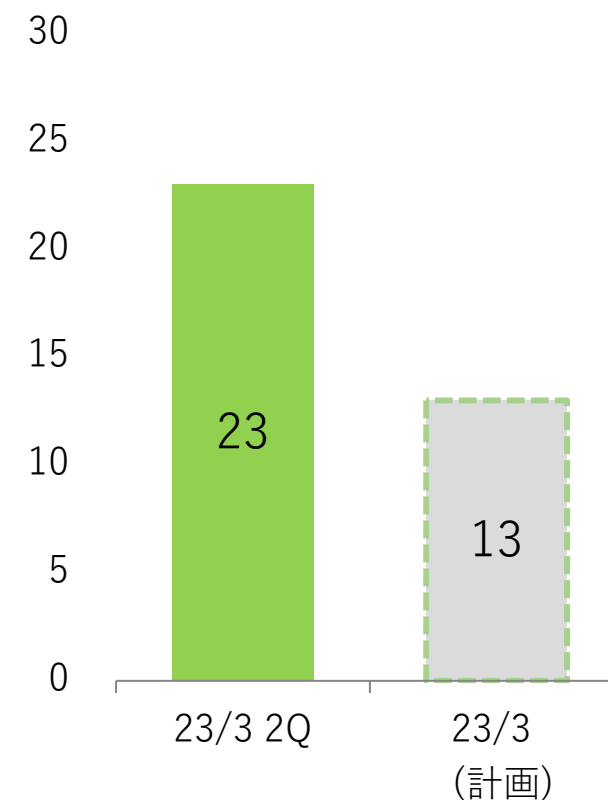
売上高

（億円）



受注残高

（億円）



受注高・売上高・受注残高 推移（AFC） 計画

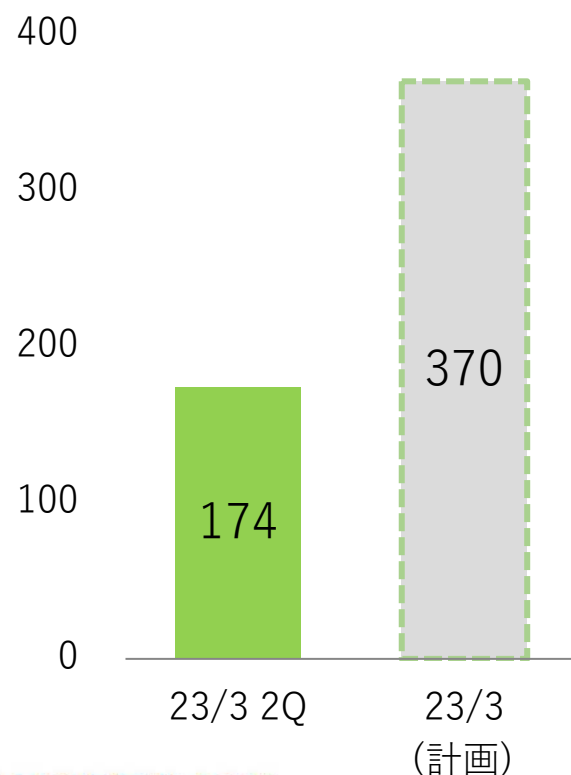
A F C 事業

シームレスな移動に寄与する乗車券のデジタル化や電子決済化、駅ホームの安全を促進するホームドアやホーム監視装置等を中心に事業展開に取り組む。

主な事業内容：自動改札機、ホームドア、駐車場管理システム ほか

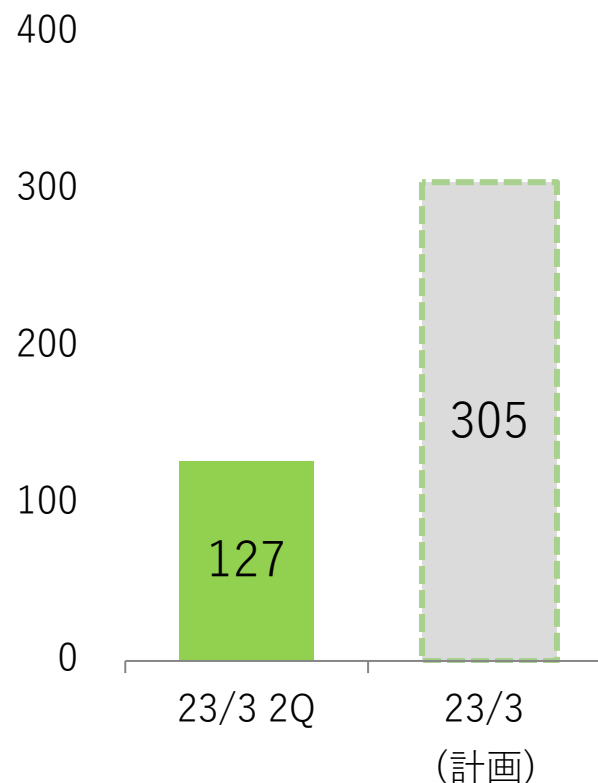
受注高

(億円)



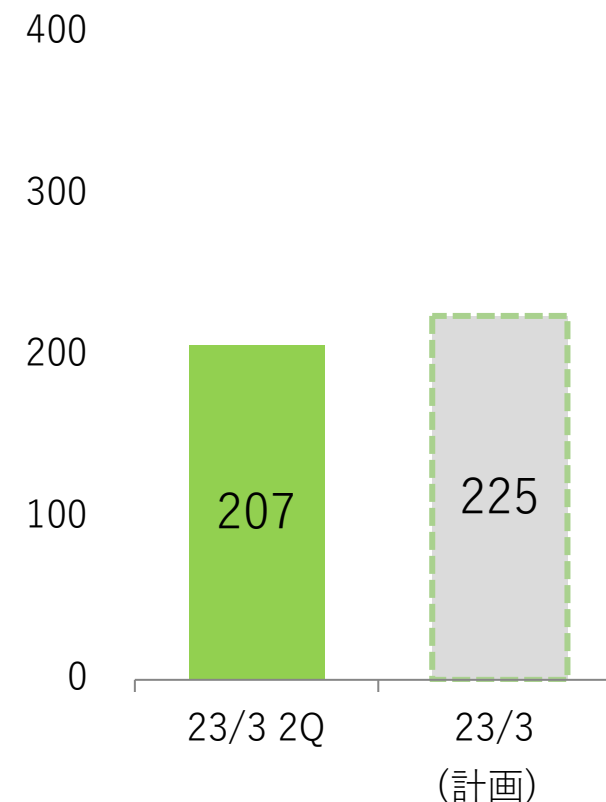
売上高

(億円)



受注残高

(億円)



受注高・売上高・受注残高 推移（スマートシティ）

計画

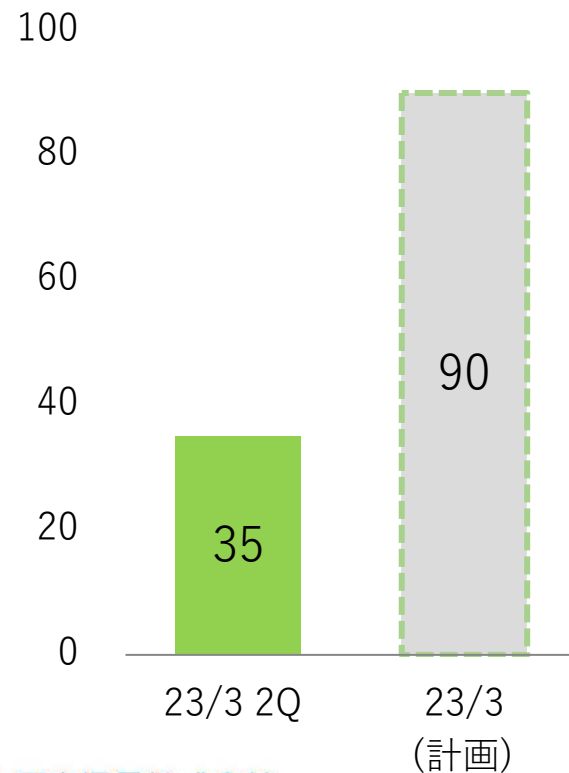
スマートシティ事業

入退管理システムを含めたビルセキュリティソリューション企画の推進、顔認証・非接触技術等の新技術に対応し、清掃ロボット開発から得た知見を活かし、多種多様なロボット開発に取り組む。

主な事業内容：セキュリティゲート、自動清掃ロボット、3D距離画像センサ ほか

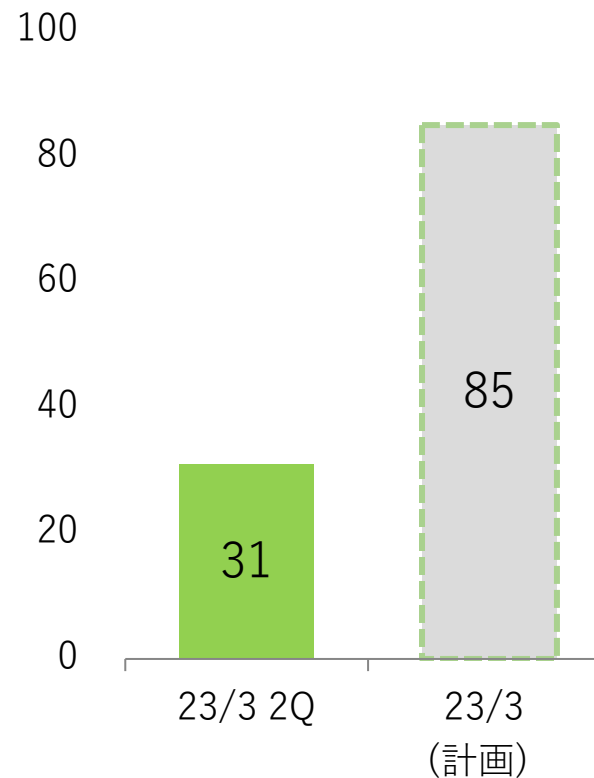
受注高

(億円)



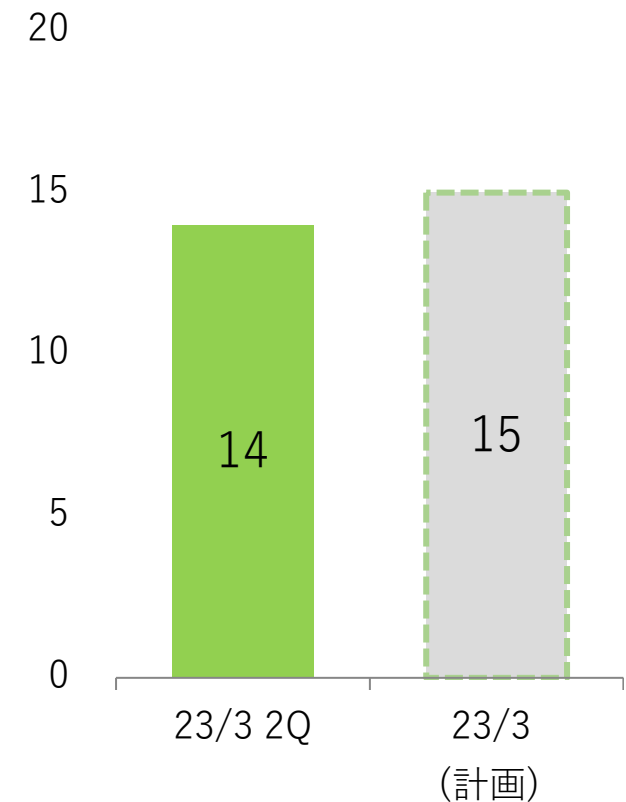
売上高

(億円)



受注残高

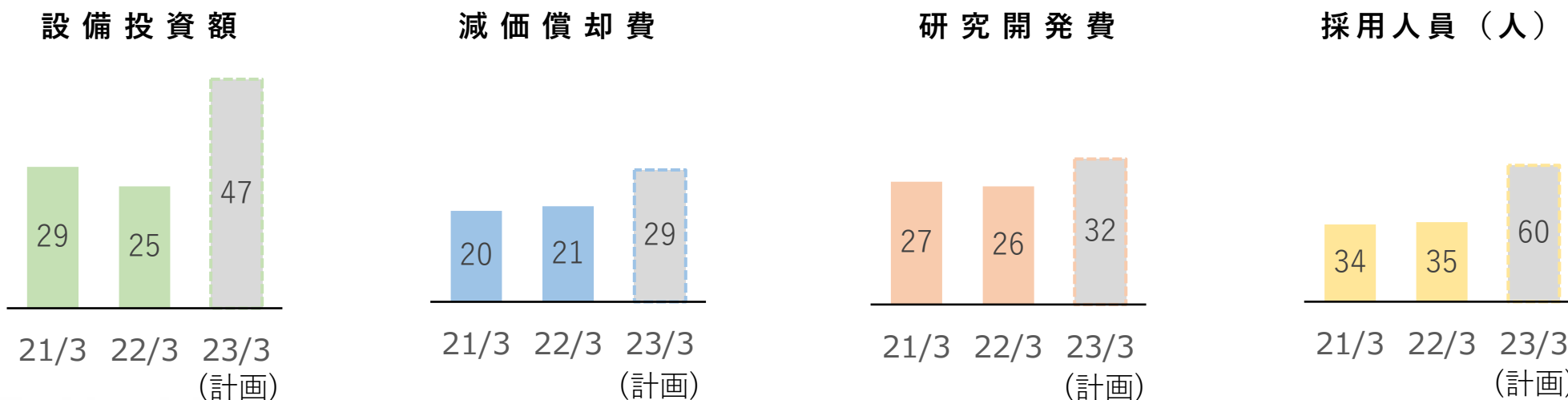
(億円)



セグメント別（セグメント別利益） 計画

(単位：億円)	2021/3	2022/3	2023/3	
			計画	前期比
交通運輸 インフラ事業	71	52	62	+9
ICTソリューション 事業	16	33	40	+7
全社費用	▲ 30	▲ 31	▲ 32	▲ 0
合計	57	53	70	+16

(単位：億円)	2021/3	2022/3	2023/3	
			計画	前期比
設備投資額	29	25	47	+22
減価償却費	20	21	29	+7
研究開発費	27	26	32	+6
採用人員（人）	34	35	60	+25

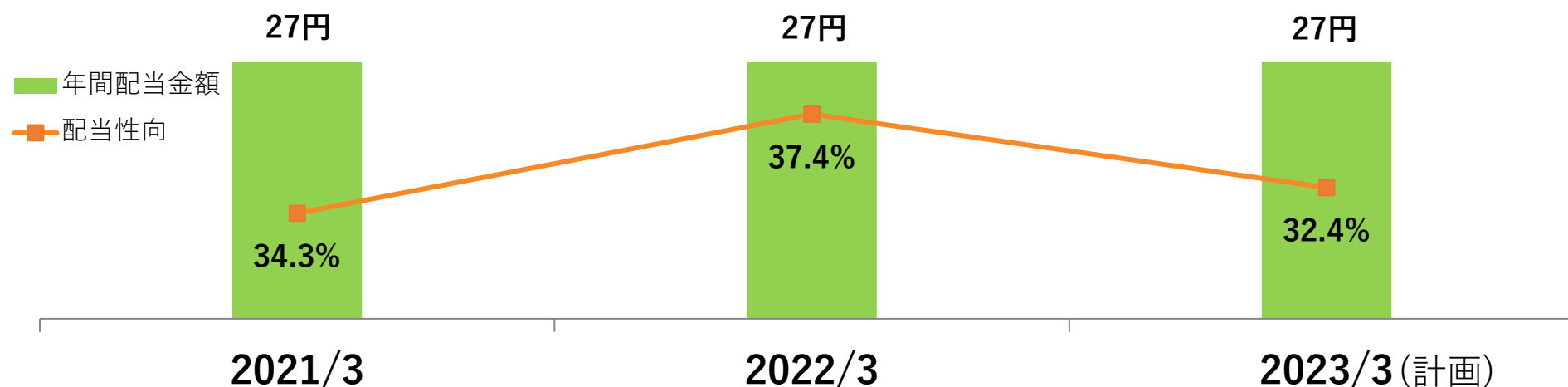


利益還元（配当金）について

- 配当については、財務体質の強化を図りつつ毎期の業績・新規投資を勘案しながら、連結配当性向30%前後を目安に安定的・継続的に行うよう努める。
安定的な配当継続を重視し、年間配当金額は27円を維持。

2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期(計画)
年間27円 第2四半期末 7円 期 末 20円 (普通配当のみ) 配当性向 34.3% 配当利回り 2.75%	年間27円 第2四半期末 7円 期 末 20円 (普通配当のみ) 配当性向 37.4% 配当利回り 3.06%	年間27円 第2四半期末 7円 期 末 20円 (普通配当のみ) 配当性向 32.4%

※配当利回りは年間配当金÷期末株価で算出



業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。